

令和2年第2回(6月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 学校の ICT 化推進を急げ
 - 2) 台風 19 号における被災地の早期復旧・復興に努力を

2. 大友 三男 議員
 - 1) 台風 19 号被災者への復旧・復興支援の現状について

3. 和賀 直義 議員
 - 1) 新型コロナウイルス感染症対策について

4. 赤間 茂幸 議員
 - 1) 新型コロナウイルスへの学校教育対応について
 - 2) 部活動とスポーツ少年団のあり方について
 - 3) 防災体制について

5. 千葉 勇治 議員
 - 1) 新型コロナウイルスによる影響と対策について
 - 2) 台風 19 号被害を乗り越える町の再建復興計画について
 - 3) 小・中学校の今後のカリキュラムについて

6. 石川 壽和 議員
 - 1) 学校教育について
 - 2) 各種検診について

7. 吉田 耕大 議員
 - 1) 新型コロナウイルス感染症の対策について
 - 2) 学校教育のこれからの方針について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 学校の ICT 化推進を急げ</p> <p>これから生きていく子どもたちにとって、ICT 教育は最も必要なことで重要なことである。</p> <p>国では令和5年までに、GIGA スクールネットワーク構想を完了する考えだが、本町ではもっと早くネットワーク整備に取り組み、子どもたちへの学習支援ができるように、次のことについて伺う。</p> <p>(1)今年3月の定例議会で、GIGA スクールネットワーク構想で質問した。その回答に小・中学校とも無線 LAN は使えるが、高速通信回線には至っていないということだが、本町における GIGA スクールネットワーク構想の今後計画はどうなっているのか。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症で小・中学校は長期休校となった。学校から学習方法、過ごし方等の指導はあったようだが、長期間であったことから、子どもたちの学習の遅れが心配されるが現状はどうか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 台風 19 号における被災地の早期復旧・復興に努力を</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症は世界規模の大災害だと思う。このことで本町の台風 19 号における復旧・復興計画に遅れはないか。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症で言われた「3密」。このことから災害における避難所のあり方を再点検する必要があると思うがどうか。</p> <p>(3)梅雨に入り大雨になる可能性がある。また、秋には台風が発生する。河川の越水が心配される。排水、内水などの対策は十分か。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 台風19号被災者への復旧・復興支援の現状について</p> <p>(1)町が選考した中村地区の民有地を「公共事業として宅地造成するより、民間会社に取得させ造成した方が早く、安く住宅再建希望者に提供できる」としているが台風災害から既に7カ月が経過している現在、移転地の造成状況や規模（計画）など、どのようになっているのか進捗状況を伺う。</p> <p>(2)台風災害から7カ月経過している現在、町内各地区（中粕川、土手崎三十丁、袋、羽生、田布施地区など）での現地住宅再建希望者や家を修繕し生活再建を希望する方々に対し、町の責任として、現実的に実現できるしっかりとした計画を示すべきであり、復旧・復興支援状況はどのようになっているのか、進捗状況について伺う。</p> <p>(3)公営住宅建設の提案に対し、町長は3月定例会で「川南地区への高齢者用の集合住宅の整備の可否を検討している」と答弁しているが、住宅再建どころか生活再建さえも大変な高齢被災者の方々を対象に、一刻も早く高齢者用災害公営住宅の整備を行うべきと考えるが所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>感染の収束は数年、長期間に及ぶとの報道もされている状況である。以下伺う。</p> <p>(1)我が町の産業への影響、町独自の支援策及び感染予防対策について伺う。</p> <p>(2)避難所を開設する場合は「三つの密」(密閉・密集・密接)を防ぐよう、可能な限りスペースを確保する(避難所の数も含む)。体温を計測する体制、マスク・消毒液等の備蓄品、発熱やせき等の症状のある人の専用スペースの設置(間仕切り・段ボール製などの簡易ベット)の備えは万全なのか。避難所運営の感染症対策の取り組み状況について伺う。</p> <p>(3)次の感染拡大による臨時休校の備えとして、オンライン授業の体制ができるよう通信環境整備や端末の確保、小・中学生に1人1台の端末を整備する「GIGAスクール構想」の前倒しを検討し、実施すべきと考えるが所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新型コロナウイルスへの学校教育対応について</p> <p>新型コロナウイルスの影響による休校の長期化で学習の遅れが深刻化している。今後の対策を伺う。</p> <p>(1)今後の学習計画とその対策は。また、小学6年生と中学3年生に対する対応は。</p> <p>(2)学習の遅れを複数年度で解消する計画と対策は。</p> <p>(3)給食及び食育等における安全対策は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 部活動とスポーツ少年団のあり方について</p> <p>次のとおり伺う。</p> <p>(1)部活動の顧問教諭の負担軽減対策はどうなっているのか。</p> <p>(2)部活動指導員をどう考えているのか。</p> <p>(3)スポーツ少年団の各種競技指導員の育成対策は。</p>	
<p>3. 防災体制について</p> <p>(1)防災体制の充実を図るため、危機管理監の配置を検討する考えはないか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新型コロナウイルス感染症による影響と対策について</p> <p>国による新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、「三密」の徹底が図られ多くの国民生活の外出自粛は、町内の農家や中小企業者らに甚大な影響を及ぼしている。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 農業や中小企業経営者等、町内におけるそれらの経営者に対する支援策を示し、再生産する元気を応援する必要があると考えるが具体的な対策は取られているのか伺う。</p> <p>(2) 特に本町の重点農業経営の一つである肥育牛経営は、素牛代（1頭当たり 80～90 万円）にもならない販売額で、1頭販売して 50 万円前後の赤字となるものも多数あり、生産者と国による財源で補てんする、価格補償の「牛マルキン」制度が発令されても、再生産する意欲を掻き立てるものではなく、まさに生産農家の崩壊につながりかねない状態だ。 これらも含め、町は損害状況の実態についてよく調査し、農家や中小企業経営に携わる生産者に具体的な支援策を示すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) コロナ収束は先が見えないと言われている。本町として、令和2年度内に計画されている今後の諸々の事業計画をどのように進めていく考えか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 台風 19 号被害を乗り越える町の再建復興計画について</p> <p>台風 19 号により吉田川が決壊し約 8 カ月が経ち、国土交通省の河川改修計画も示され、復興に向け前進しつつある。一方、本町の復興計画が示されず戸惑っている声も第二次調査の中で多く出されている。そこで次の件について伺う。</p> <p>(1) 今回の吉田川決壊や越水により、中粕川・土手崎三十丁・鶉崎の袋地区をはじめ、町内全域にわたり被害を受けた町民が安心して暮らせる、災害に強い「再建・復興」のまちづくり案を早期に示すべきと考える。遅れている家屋解体工事の今後の計画も含め所見を伺う。</p> <p>(2) 移転再建先として、町長が買収から造成・分譲まで民間力に</p>	

<p>大きく依存し、中村地区のS氏所有地を利用した「団地構想計画」は、未だに手つかずの状態だ。被災者を対象にした第二次調査結果ではその地への移転希望者が極めて少ない状況であり、団地構想計画は困難と考えるが、古民家構想と合わせて所見を伺う。</p> <p>(3)中粕川地区では、地域の再建をめざし地区を挙げて取り組んでいることが報じられているが、町としてもその計画を積極的に進めるべきと考えるが所見を伺う。</p>	
<p>3. 小・中学校の今後のカリキュラムについて</p> <p>(1)6月1日から小・中学校が再開されたが、これまで、約2カ月間に及ぶ休校に伴い生じている「教育全般にわたる遅れ」を取り戻すカリキュラム内容を示し、保護者をはじめ関係者が一丸となり取り組むべきと考えるが教育長の見解を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 学校教育について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校の休校措置が長期にわたりとられたが、今後の対策について次の点を伺う。</p> <p>(1)休校明けの感染症防止対策、対策グッズは十分なのか伺う。</p> <p>(2)休校中のカリキュラム不足はどう補うのか。翌年度への繰り延べも可とする文科省の見解もあるようだが可能なのか伺う。</p> <p>(3)カリキュラム不足が特に心配なのが、小学6年生と中学3年生だと思うが対応を伺う。併せて、「9月入学」の所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 各種検診について</p> <p>新型コロナウイルス感染対策として各種検診の日程が延期されているが、年1回の健診が推奨されている中で、いつ実施されるのか心配されている方も少なくないのではと思われる。見通しを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新型コロナウイルス感染症の対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の第2波に対しての対策を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少となった事業者や休業を余儀なくされた方への町独自の支援は考えているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 学校教育のこれからの方針について</p> <p>(1) 国から出された「新しい生活様式」の実践例で感染防止を行いながら学校教育をどのように進めるか伺う。</p> <p>(2) インターネット教育が今後進むのではないかとされているが、本町ではどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 感染防止の為、本町独自の学校教育でフィールドワーク（現地調査）等に取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p>	